



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社アルファポリス

上場取引所 東

コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道 TEL 03-6277-0123

定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,334	11.3	2,272	6.0	2,279	6.1	1,403	6.8
2023年3月期	9,288	2.2	2,417	10.2	2,426	10.2	1,506	8.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	144.86		12.8	17.3	22.0
2023年3月期	155.49		15.8	21.2	26.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	13,946	11,689	83.8	1,206.65
2023年3月期	12,436	10,285	82.7	1,061.79

(参考) 自己資本 2024年3月期 11,689百万円 2023年3月期 10,285百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,248	286	25	9,707
2023年3月期	1,618	25	24	8,771

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期		0.00		0.00	0.00			
2025年3月期(予想)		0.00		33.00	33.00		20.5	

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	12.2	2,510	10.5	2,520	10.6	1,560	11.2	161.04

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	9,687,400 株	2023年3月期	9,687,400 株
期末自己株式数	2024年3月期	270 株	2023年3月期	270 株
期中平均株式数	2024年3月期	9,687,130 株	2023年3月期	9,687,130 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	7
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復が見られるものの、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が懸念される等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する出版業界におきましては、紙の出版物の市場は厳しい状況が続いているものの、一方で電子出版の市場は堅調な成長を続けております。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2023年（1月から12月まで）の紙と電子を合算した推定販売金額は前年比2.1%減の1兆5,963億円となり、その内訳は、紙の出版物については同6.0%減の1兆612億円、電子出版については同6.7%増の5,351億円となっております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当事業年度における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

#### ① ライトノベル

当事業年度の刊行点数は前期を大きく上回る344点（前期比71点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、TVアニメ化タイトルである『Re:Monster』が、最新巻を刊行したことに加えて2024年4月からのアニメ放送にあわせた既刊の増刷及び出荷を行ったことにより、好調に推移いたしました。また、電子書籍販売につきましては、2024年1月からアニメ第2期の放送を開始した『月が導く異世界道中』の既刊がアニメの放送に伴って大きく販売数を伸ばし、売上を牽引いたしました。

結果、当事業年度の売上高は前期を上回る着地となりました。

#### ② 漫画

当事業年度の刊行点数は前期を上回る187点（前期比26点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、2024年4月からアニメ放送を開始する『Re:Monster』や同じく4月からアニメ放送を開始する『THE NEW GATE』等の人気シリーズの続刊が引き続き好調に推移いたしました。また、漫画と親和性の高い電子書籍販売につきましては、新規配信点数の増加、各ストアにおける拡販施策の展開、アニメ放送による販売数の伸長等により、売上高は大幅に増加いたしました。

結果、当事業年度の売上高は前期を大幅に上回る着地となりました。

#### ③ 文庫

当事業年度の刊行点数は前期を上回る185点（前期比26点増）となりました。シリーズ累計144万部を超える人気シリーズ『居酒屋ぼったくり』の文庫版が堅調に推移し、当ジャンルの売上を牽引いたしました。また、日本歴史時代作家協会主催の「第11回日本歴史時代作家協会賞」において文庫書き下ろし新人賞を受賞した時代小説『谷中の用心棒 萩尾大楽』の続編を刊行する等、取扱いジャンルの拡大にも引き続き注力してまいりました。

しかし、開拓中のジャンルにおける刊行を強化した反面、刊行書籍1点あたりの発行部数は前期より減少したことから、当事業年度の売上高は前期を下回る金額で着地いたしました。

#### ④ その他

当事業年度の刊行点数は4点（前期比3点減）となりました。当ジャンルにおいては、更なる業績拡大及びポートフォリオ最適化の観点から、特定ジャンルに依存しない幅広いジャンルにおける書籍の刊行に取り組んでまいりました。

しかしながら、刊行計画の都合上、刊行点数が前期から減少したことにより、当事業年度の売上高は前期を下回る金額で着地いたしました。

以上の活動の結果、当事業年度の売上高は10,334,097千円（前期比11.3%増）となり、過去最高を更新いたしました。利益面につきましては、増収効果はあったものの、期初に計画していた「印税率の改定」及び「人材・設備の拡充」といった事業基盤強化を目的とした成長投資を実施したことや紙書籍の製本コストが増加していること等から利益率が低下し、営業利益は2,272,181千円（同6.0%減）、経常利益は2,279,071千円（同6.1%減）、当期純利益は1,403,294千円（同6.8%減）となりました。

（注）シリーズ累計部数：同作品の続編に加え、同作品の漫画及び文庫を含み、部数は電子書籍販売数を含む。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当事業年度末の流動資産は、前事業年度末に比べ1,188,331千円増加し、13,286,432千円となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前事業年度末比935,598千円増）したこと並びに売掛金が増加（同171,092千円増）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ322,094千円増加し、659,994千円となりました。これは主に、投資その他の資産が増加（同289,406千円増）したことによるものであります。

② 負債

当事業年度末の流動負債は、前事業年度末に比べ113,559千円増加し、2,223,509千円となりました。これは主に、未払法人税等が減少（前事業年度末比165,499千円減）した一方で、未払金が増加（同129,719千円増）したこと、未払費用が増加（同73,920千円増）したこと、前受金が増加（同32,884千円増）したこと並びに返金負債が増加（同27,520千円増）したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6,428千円減少し、33,900千円となりました。これは、リース債務が増加（同5,687千円増）した一方で、長期借入金が減少（同12,116千円減）したことによるものであります。

③ 純資産

当事業年度末の純資産は、前事業年度末に比べ1,403,294千円増加し、11,689,017千円となりました。これは全て、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は前事業年度末より935,598千円増加し、9,707,339千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは1,248,069千円の収入（前事業年度は1,618,854千円の収入）となりました。主な増加要因は、税引前当期純利益の計上によるものであります。また、主な減少要因は、法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは286,506千円の支出（前事業年度は25,848千円の収入）となりました。これは主に、出資金の払込による支出188,790千円及び有形固定資産の取得による支出64,043千円が発生したことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは25,963千円の支出（前事業年度は24,442千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出24,200千円が発生したことによるものであります。

#### （4）今後の見通し

当社の属する出版業界におきましては、電子出版物の市場は堅調に拡大していくものと思われます。

そのような状況下、当社におきましては、編集部門の体制強化により書籍制作力が更に向上したことから、次期の書籍の刊行点数は前期を上回る764点（前期比44点増）を計画しております。また、電子書籍販売の体制強化やアニメ化による原作書籍の販売促進効果等により、電子書籍売上の上なる拡大を計画しており、売上高は前期を上回ることを見込んでおります。

費用面に関しましては、事業に係る変動費の構造に大きな変化はありません。販売費及び一般管理費につきましては、事業規模拡大に備えた人材採用や自社Webサイトの強化を目的としたシステム関連費用等の支出を計画しており、営業利益率は前期と同水準の比率での着地を見込んでおります。

これらの結果、次期の業績見通しにつきましては、売上高は11,600百万円（前期比12.2%増）、営業利益は2,510百万円（同10.5%増）、経常利益は2,520百万円（同10.6%増）、当期純利益は1,560百万円（同11.2%増）となり、売上高及び利益いずれも過去最高を更新することを見込んでおります。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知置きください。

#### （5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。

当社は、未だ成長過程にあることから、経営基盤の強化と事業拡大のための成長投資に必要な内部留保の充実を図ることが株主に対する最大の利益還元につながることを考え、創業から当事業年度まで配当は実施していませんでした。

次期以降につきましては、堅調な業績推移により内部留保の充実を図るとともに、将来の成長投資と株主に対する利益還元を両立することが可能と判断したことから、配当を実施することといたします。

2025年3月期につきましては、1株あたり33円の配当を予定しております。

なお、今後の配当方針につきましては、業績や企業価値向上のための成長投資、経営基盤強化のための内部留保の充実等を総合的に勘案したうえで、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針といたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後のIFRS（国際会計基準）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,771,740	9,707,339
売掛金	2,800,422	2,971,515
製品	251,162	332,277
仕掛品	206,227	235,240
前払費用	25,712	14,596
その他	42,836	25,464
流動資産合計	12,098,101	13,286,432
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	19,751	46,977
工具、器具及び備品 (純額)	7,001	17,347
リース資産 (純額)	3,300	10,089
有形固定資産合計	30,053	74,414
無形固定資産		
ソフトウェア	33,842	22,169
無形固定資産合計	33,842	22,169
投資その他の資産		
出資金	8,000	193,794
保険積立金	8,000	8,000
敷金	95,623	150,634
長期前払費用	492	3,279
繰延税金資産	132,635	169,449
その他	29,252	38,252
投資その他の資産合計	274,004	563,410
固定資産合計	337,900	659,994
資産合計	12,436,001	13,946,426
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,044	84,854
1年内返済予定の長期借入金	25,040	12,956
未払金	689,011	818,731
未払消費税等	72,899	68,908
未払費用	45,594	119,515
未払法人税等	586,712	421,213
預り金	24,671	36,522
賞与引当金	49,450	59,349
投稿インセンティブ引当金	28,898	25,626
返金負債	457,442	484,963
前受金	54,858	87,743
リース債務	1,324	3,125
流動負債合計	2,109,950	2,223,509
固定負債		
長期借入金	37,959	25,843
リース債務	2,369	8,057
固定負債合計	40,328	33,900
負債合計	2,150,279	2,257,409

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金		
資本準備金	853,824	853,824
資本剰余金合計	853,824	853,824
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	8,568,710	9,972,005
利益剰余金合計	8,568,710	9,972,005
自己株式	△637	△637
株主資本合計	10,285,722	11,689,017
純資産合計	10,285,722	11,689,017
負債純資産合計	12,436,001	13,946,426

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,288,579	10,334,097
売上原価		
製品期首棚卸高	192,406	251,162
当期製品製造原価	2,349,132	2,830,484
合計	2,541,539	3,081,646
製品期末棚卸高	251,162	332,277
製品売上原価	2,290,377	2,749,369
売上総利益	6,998,202	7,584,727
販売費及び一般管理費	4,580,941	5,312,546
営業利益	2,417,261	2,272,181
営業外収益		
受取利息	75	89
前払式支払手段失効益	7,377	6,122
その他	1,529	888
営業外収益合計	8,982	7,101
営業外費用		
支払利息	197	208
その他	2	2
営業外費用合計	199	211
経常利益	2,426,044	2,279,071
特別損失		
関係会社株式評価損	9,419	—
本社移転費用	—	43,768
特別損失合計	9,419	43,768
税引前当期純利益	2,416,624	2,235,302
法人税、住民税及び事業税	949,625	868,820
法人税等調整額	△39,275	△36,813
法人税等合計	910,350	832,007
当期純利益	1,506,274	1,403,294

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
当期首残高	863,824	853,824	853,824	7,062,436	7,062,436	△637	8,779,448	8,779,448
当期変動額								
当期純利益				1,506,274	1,506,274		1,506,274	1,506,274
当期変動額合計	—	—	—	1,506,274	1,506,274	—	1,506,274	1,506,274
当期末残高	863,824	853,824	853,824	8,568,710	8,568,710	△637	10,285,722	10,285,722

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
当期首残高	863,824	853,824	853,824	8,568,710	8,568,710	△637	10,285,722	10,285,722
当期変動額								
当期純利益				1,403,294	1,403,294		1,403,294	1,403,294
当期変動額合計	—	—	—	1,403,294	1,403,294	—	1,403,294	1,403,294
当期末残高	863,824	853,824	853,824	9,972,005	9,972,005	△637	11,689,017	11,689,017

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	2,416,624	2,235,302
減価償却費	27,597	28,150
関係会社株式評価損	9,419	—
本社移転費用	—	43,768
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,142	9,899
投稿インセンティブ引当金の増減額 (△は減少)	544	△3,271
返金負債の増減額 (△は減少)	30,268	27,520
受取利息及び受取配当金	△75	△89
支払利息	197	208
売上債権の増減額 (△は増加)	△162,880	△171,092
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△109,593	△110,128
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,948	10,809
未払金の増減額 (△は減少)	89,523	128,942
その他	31,121	84,884
小計	2,353,551	2,284,904
利息及び配当金の受取額	75	89
利息の支払額	△197	△208
本社移転費用の支払額	—	△6,632
法人税等の支払額	△734,575	△1,030,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,618,854	1,248,069
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,849	△64,043
出資金の払込による支出	△8,000	△188,790
出資金の回収による収入	—	2,995
敷金及び保証金の差入による支出	—	△36,668
敷金及び保証金の回収による収入	38,697	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,848	△286,506
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△24,253	△24,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,304	△1,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,442	△25,963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,669,145	935,598
現金及び現金同等物の期首残高	7,102,594	8,771,740
現金及び現金同等物の期末残高	8,771,740	9,707,339

- (5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	－千円	－
持分法を適用した場合の投資の金額	－	－
持分法を適用した場合の投資損失（△） の金額	△8,281	－

(注) 関連会社に対する投資の金額は、減損処理しております。

(セグメント情報等)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,061.79円	1,206.65円
1株当たり当期純利益金額	155.49円	144.86円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益金額（千円）	1,506,274	1,403,294
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	1,506,274	1,403,294
期中平均株式数（株）	9,687,130	9,687,130

(重要な後発事象)

該当事項はありません。